

目次

1. 研究背景
2. 問題意識と研究目的
3. 日本と中国のコンビニ業界の比較
4. コンビニ業界の人手不足の問題
5. 考察と提案（インターンシップ・AL・ゼミ等）
6. まとめ
7. 参考文献

問題意識・研究目的

日本では、阪神淡路大震災と東日本大地震がきっかけとなり、消費者の身近な小売業であるコンビニ業界の防災という側面からの社会的に役割が期待されるようになった。一方、コンビニ業界自体の経営環境においてフードロスや雇用問題・人手不足などの問題に直面しているのも事実である。

そこで、本研究ではコンビニの人手不足問題に焦点をあてて、現在の実態と要因分析を行ったうえで、大学生の視点から人手不足問題の解決方法を検討したい。

内容

- ・日本のコンビニ業界の人手不足問題の実態分析。
- ・人手不足を解消するための対策の整理。
- ・日本と中国のコンビニの比較分析を通じて取り組み実態の違いを解明する。
- ・多摩大学内で学生を対象としたアンケートを実施し、コンビニについての意識調査を行い、人手不足問題の解決方法を探る。

結論

- ・人手不足問題の解決にはセルフレジの導入や、スマートフォン払いなどの工夫が必要である。
- ・コンビニの人手不足問題をすぐに解決することは難しい。
- ・アンケートの調査結果から、インターンシップとしての参加の意向はあまり強くない。